

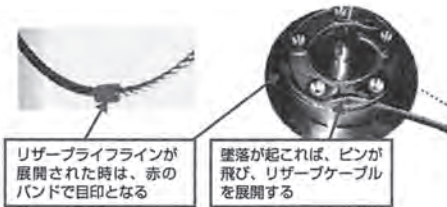
# セーフティーブロック U 型

## セーフティーブロック U 型 (ワイヤロープ巻取り式墜落防止器具)

● 高所昇降作業用の墜落防止安全器具です。車のシートベルトと同じ原理でワイヤロープが自由に繰り出され、巻き込まれるため、柔軟な作業性が確保されます。両手を使って昇り降りができるため、作業性・安全性が格段にアップします。

### リザーブライフラインシステム採用

リザーブライフラインシステムにより最大長さでの使用中に万一墜落が起これば、ディスクブレーキが有効に働き衝撃を軽減します。



リザーブライフラインが展開された時は、赤のバンドが目印となる

墜落が起これば、ピンが飛び、リザーブケーブルを展開する

### ディスクブレーキで衝撃緩和 (最大使用重量120kg)

ディスクブレーキの採用で衝撃を軽減します。最大使用重量は業界トップクラスの120kgまで可能です。

(ディスクブレーキ付 (本品) : 落下衝撃荷重約4.0kN)  
(ディスクブレーキ無 : 落下衝撃荷重約8.0kN (当社試験結果))

### 台付けロープ取付環が回転

本体が回転するため設置が楽に行えます。

### テンションインジケータ付フック

万一の墜落等で一度でも大きな荷重が加わったフックは使用できません。

荷重が加わったことが確実に判定できるのがテンションインジケータ付フックです。



作動前

作動後

セーフティー  
ブロック U 型

### ■ 付属品

引寄せロープ

台付けロープ

### 衝撃、熱、化学物質に強い

剛性が高く丈夫で熱や化学物質にも強い本体ケースです。

(10~20mタイプ: サーマプラスチック製ケース+補強アルミプレート)  
(25・30mタイプ: アルミキャスト製ケース)

### ワイヤの引き出し・巻き込み時に音で確認

正常な引き出し・巻き込み時には「カタカタ」と爪の動作音が鳴り、使用時に異常の有無を確認できます。

長さ (m)	使用荷重 (kg)	最大衝撃荷重 (kN)	使用ロープ (φ)	重量 (kg)
10	120	4.0	4.3	4.9
15	120	4.0	4.3	6.3
20	120	4.0	4.3	6.7
25	120	4.0	4.3	13.1

## ベルブロック (ベルト巻取り式墜落防止器具)



超強力繊維とポリエステル製の2重構造のベルトなので、周囲の設備・構築物に触れてもワイヤロープのように傷をつける心配がありません。ケースは、衝撃に強くわれにくく、軽量・コンパクトなので持ち運びに大変便利です。

### ■ 付属品

引寄せロープ

カラビナ

台付けロープ

ベルト長さ (m)	ベルト幅 (mm)	使用荷重 (kg)	落下衝撃荷重 (kN)	重量 (kg)
5.7	4.3	120	5.7	1.4

# セーフティブロック U 型

## セーフティブロック使用上の注意事項

<p>■ワイヤーロープのロック機能の確認をしてください。</p> <p>昇降前にワイヤーロープをすばやく引き出し、ロックすることを必ず確認してください。</p>  	<p>■安全ブロックのフックは安全帯のリングへ直接連結してください。</p> <p>安全ブロックのフックは安全帯のB環（D環）およびロリップ環へ直接連結してください。</p>  	<p>■安全ブロックは腰より高い位置に取付けてください。また設置場所にエッジがある場合はパッド等で保護してください。</p> <p>安全ブロックより上部に昇って作業しないでください。落下距離が長くなり、作業者に加わる衝撃荷重が高くなります。</p>  
<p>■電線等に触れる場所で使用しないでください。</p> <p>ワイヤーロープが電線（活線）等に接触すると感電する危険性があります。</p>  	<p>■ワイヤーロープにたるみが生じたり、障害物に引っ掛かる場所では使用しないでください。</p> <p>たるんだ状態や障害物に接触した状態で使用すると、落下距離が長くなったり、身体に絡んで危険な状態が発生します。</p>  	<p>■ワイヤーロープにさびや索線切れまたはキンクが発生しているものは使用しないでください。</p> <p>索線1本でも切断したり、キンクが生じているものは、強度が不足し墜落阻止できないおそれがあります。</p>  
<p>■火気に近い場所や薬品・水・油等が付着する場所では使用しないでください。</p> <p>安全ブロックは火気・薬品等に影響されると強度低下を招きます。また大量の水や油によってロック機能が作動しなくなる恐れがあります。</p>  	<p>■傾斜面での使用は注意してください。</p> <p>傾斜が鋭い場所ではワイヤーロープの引出し速度が遅く、ロック機構が働かない場合があります。</p>  	<p>■安全ブロックの取付点から30°以下の範囲内で使用してください。</p> <p>範囲を超えての使用は万一の墜落時に振り子状態が大きくなり、他の構造物にぶつかるとおそれがあります。</p>  
<p>■移動中または作業中にワイヤーロープを腕や足の下に通さないでください。</p> <p>移動中や作業中にワイヤーロープが絡まり、バランスをくずす場合があります。</p>  	<p>■引き出したワイヤーロープはゆっくりと巻き取ってください。</p> <p>勢いよく巻き取ったり、安全ブロックを横にして巻き取ったりすると、ワイヤーロープが乱巻きになり、巻き取り・引き出しができなくなる場合があります。</p>  	<p>上記内容は取扱説明書も内容を一部抜粋したものです。詳しくは安全ブロックの取扱説明書をお読みください。</p> <p>注) 一度でも大きな荷重が加わったものは使用しないでください。内部に亀裂や変形が生じているおそれがあります。弊社の検査を受けるまでは使用しないでください。</p>

## 鉄筋フック32型

● 柱・梁から親綱ロープを取る為の墜落災害防止用金物

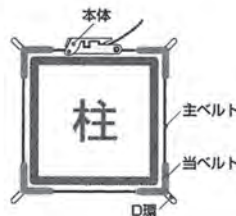


品名	材質	数量	備考
鉄筋フック32本体	SS400	1	t-6
押しボルト	ボロン鋼	1	M14
皿パネ	S45C	1	
適応鉄筋径	D22 ~ 32		

- 鉄筋に対して縦向きに鉄筋フックをはめ込みます。
- 矢印の方向に90°回転させます。
- ボルトは、トルク35 N・m～45 N・mで締付けてください。
- 親綱ロープを投置して完成。

## キャッチベルト

● ピース溶接不要の鉄骨柱用親綱固定ベルト



品名	柱形状	サイズ
3.7M 主ベルト 付き本体	角柱	250mm
	丸柱	850mm
	H鋼	

